



令和2年2月6日
海上保安庁総務部人事課

令和元年度人事院総裁賞（第32回）受賞者について

標記について、当庁から下記の職員が、令和元年度人事院総裁賞（個人・職域）を受賞することとなりました。

授与式は2月12日（水）午前11時30分より明治記念館（東京都港区元赤坂）にて行い、受賞者は天皇陛下の御接見を賜る予定です。

なお、皇后陛下の御体調に支障がなければ、天皇皇后両陛下での御接見になります。

記

1 人事院総裁賞の趣旨

人事院総裁賞は多年にわたる不断の努力や国民生活の向上への顕著な功績等により、公務の信頼を高めることに寄与したと認められる職員（一般職の国家公務員）又は職域を顕彰するもの。（昭和63年創設、今回32回目）

2 受賞

（1）「個人部門」

海上保安庁総務部海上保安試験研究センター 山崎 ゆきみ（61歳）

「受賞理由」

犯罪捜査に係る証拠物件である油類・船艇塗膜等の分析・鑑定業務に29年間従事し、迅速・的確な鑑定の実施、分析鑑定業務の能力・信頼性の向上に尽力し、海上保安庁の捜査業務に大きく貢献

（2）「職域部門」

海上保安庁、財務省税関、厚生労働省地方厚生局麻薬取締部

「受賞理由」

長期の粘り強い内偵捜査を行うとともに、関係機関で合同捜査体制を構築して、海上及び陸上における徹底した水際対策を実施し、過去最大量となる覚醒剤約1トン（末端価格約600億円相当）の密輸入を阻止し、国内治安の維持に大きく貢献